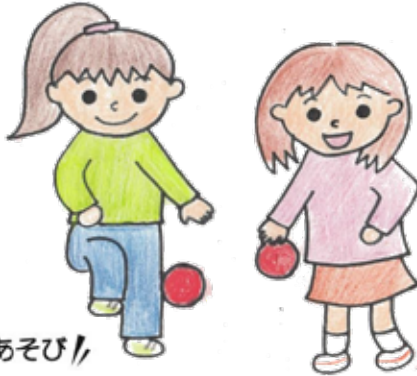


うたって遊ぶ

遊んでいるうちに、いつの間にか歌ってる

子どもは遊びながら自然にメロディを口ずさみ、それがわらべうたとなって伝えられてきました。うたに合わせて体を動かし、動きに合わせてうたが生まれてきました。



♪いろいろな伝承あそび♪

あんたがたどこさ(うた)

♪あんたがたどこさ ひごさ ひごどこさ くまもとさ くまもとどこさ せんばさ
せんばやまには たぬきがおってさ それをりょうしが てっぽうでうってさ
にてさ やいてさ くてさ それをこのはで ちょいとかぶせ♪

<遊び方>

64 まりつき

歌いながらまりをつき、「さ」のところで足の下をくぐらせる。最後の「ちょいと
かぶせ」は「さ」ではないので、まりをまたの下に隠したり、得意技で終わらせる。

65 ジャンプ(まわってとぶ)

地面に放射線状に線をかき、それぞれのエリアに1人ずつ入る。右まわりで歌いなが
らとび、「さ」のところで1マス戻る。

ジャンプ(円になってとぶ)

手をつないで輪になり、歌いながら両足とびで右にまわり、「さ」のところで一歩
左に戻り、これを続ける。

66 お手玉

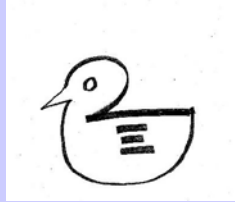
お手玉を1つずつ持ち、数人で輪になる。最初は全員右手にお手玉を持ち、うたに
合わせて左の手のひらを打ち、「さ」のところで右隣の人の左手に渡す。最後のち
よいとかぶせの「せ」は、各自の頭に載せ、下を向きながら落として手で受ける。
次は左手に持って反対まわりにする。2人で向きあってもよし、大勢でも楽しい。
失敗しても楽しい。この他にも「さ」のところでどんな動きをしようかと考え、自
由にあそびを発展させることができる。

67 絵かきうた

歌いながら黒板やノート、地面に文字や数字を織り交せて絵をかく。



① ♪ つるさんは
丸丸むし♪



② ♪ にーちゃんが
3円もらって 豆かって
口をとんがらかせて あひるさん♪



③ ♪ ーちゃんが
豆もらって
あっという間に
かさやさん♪

*うたを歌いながらペンを走らせる。絵を見せないでうたを歌うと、面白い絵が出来たりする。子どもたちの想像力が楽しさを生む。

68 花いちもんめ

- ① 2組 (☆★) に分かれて、一列になって手をつなぐ。
- ② 2組が対面となり、うたに合わせて前に出たり下がったりする。
 - ★ ☆ ♪ ぶるさともとめて花いちもんめ (互いに前に出る)
 - ★ あの子がほしい (★だけ前に出る)
 - ☆ あの子じゃわからん (☆だけ前に出る)
 - ★ ☆ そうだんしよう そうしよう (その場でつないでいる手を振る)
- ③ 歌に合わせて、前に出て足をあげる。
 - ★ △△ちゃんがほしい (前に出ながら、対戦相手の1人の名を言う)
 - ☆ ▲▲ちゃんがほしい (前に出ながら、対戦相手の1人の名を言う)
- ④ 呼ばれた2人が、対面してじゃんけんする。勝った組は、負けた人を仲間に入れることができる。
- ⑤ 歌に合わせて、表現をする。
 - ☆ 勝ってうれしい花いちもんめ (☆だけ前に出る)
 - ★ 負けてくやしい花いちもんめ (★だけ前に出る)
- ⑥ これを繰り返す、人数が増えた方が勝ち。

69 なべなべそこぬけ

- ① 2人で向き合って手をつなぎ、♪ なべなべそこぬけ そこがぬけたらかえりましょう ♪ でひっくり返って、背中合わせになる。
- ② 再び「♪ なべなべ...」とうたい、ひっくり返って元に戻る。

*大勢でも遊べる。全員で手をつなぎ、輪になりうたを歌いながら手を離さないようにくぐり、反対向きの輪になる。歌いながらまた戻る。



あやとり

1人でもできる、相手と息を合わせて楽しむこともできる

ひも1本でいろいろな形や美しい模様をつくりだすあやとりは、〈無文字社会〉では記録や伝承の手段でもありました。交互に取りあう「2人あやとり」のほか、うたを歌いながら息を合わせて引きあうあそびなど、いろいろなあそび方があります。好きな色の糸を使い、自分にあった長さのオリジナルのあやとりひもをつくることもできます。



70 ♪糸ひけぶんぶん まめひけガラガラ♪



① 1人が両手首に一周糸をかけ、左右の中指で手首の糸をとる。



② もう1人が、相手の左右の手首にわたしてある糸を中指ですくう。はじめの1人は、中指以外をはずす。



③ 両方が中指にかけた状態で、2人でうたいながら、自分の両手を合わせたり離したりして、互いに引き合う。

71 ♪もちつき べったん べったんこ♪



① 2人で向かい合い、互いに相手の親指と小指に糸をかける。



② 対角線上にある相手の手のひらにかかっている糸を中指ですくう。右手同士ですくいあったら、次に左手も同様に互いにすくいあう。



③ 中指以外の糸をはずし、うたを歌いながら、右手同士、左手同士を合わせると、自然と互いに引き合い、息があってくる。

72 ♪ぶんぶく茶釜でお茶わかせ お茶がわいたらはなせよホイ♪



① 1人あやとりか2人あやとりで、ぶんぶく茶釜を作る。



② その6つの角を3人で2本ずつ(6人で1本ずつ)持つ。



③ 歌に合わせて引き合い、はなせよホイで糸を離す。糸が手に残ってしまった人が負け。

あやとりひもづくり



<必要なもの>

中細の毛糸(2色) はさみ

73 あやとりひもづくり



① 2色をそろえて両手を広げ、3ひろの長さで切る。1ひろは両手いっぱい伸ばした長さ。



② 2本の糸を中心に交差させ、ピンと張った状態で離れて立つ。



③ ぴんと張ったままの状態でも糸をよる。反対側を向いて、同じ方向(外側)によっていく。



④ 十分によれたところで、1人が両端を10cmほど離して持って、ピンと張る。



⑤ もう1人は交点から2本の糸を指で押さえながら、少しずつ前に進む。2色の糸がぐるっと合わさり自然によれてくる。



⑥ 端を持ってよれた糸をしごき、まっすぐにする。交点のよりを少し戻し、その間に片方の糸の末端を通し、もう1本の糸の末端と結び、ひとつの輪にして完成。